

11月議会が閉会（12月8日）

医療・介護の報酬等の同時改定や教育無償化の促進など 日本共産党提案の意見書に自・民・公が反対

12月8日に閉会した11月定例会では、市長提案の48議案と追加の人事案件4件の計52案件のうち、天守閣関連議案など5件に反対しました。

意見書可決は3。共産の3件は否決

意見書案は各会派から9件が提案され、政審委員長会などで疑問点などを出しあいながら意見調整を行い、議会運営委員会理事会で3件の意見書を議決することになりました。日本共産党提案の3件の意見書案はいずれも否決され、本会議での上程ができませんでした。

意見書案に対する各会派の態度 2017年12月1日議運理事会

件 名	提案	各会派の態度					結果
		共	自	民	公	減	
臓器移植の環境整備に関する意見書(案)	自	◇	○	○	◇	○	◎
指定都市への難病に関する事務の移譲に伴う財政措置等を求める意見書(案)	自	◇	○	○	○	○	◎
性暴力被害者への支援の法定化に関する意見書(案)	民	○	○	○	○	○	◎
小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書(案)	公	●	○	○	○	○	×
建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書(案)	共	○	●	●	●	●	×
診療報酬・介護報酬等の同時改定に関する意見書(案)	共	○	●	●	●	●	×
教育の無償化の促進に関する意見書(案)	共	○	●	●	●	○	×
受動喫煙防止対策強化を目的とした健康増進法改正の早期実現を求める意見書(案)	減	●	●	●	●	○	×

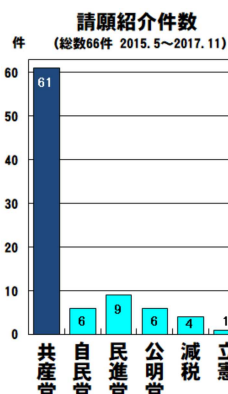
・結果の◎は可決された意見書。×は一致しなかった意見書。意見書名を修正した場合は修正後の件名を掲載。議運理事会での態度。○＝賛成 ●＝反対 ◇＝修正
(会派名 共：日本共産党 自：自民党 民：民進党 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ)
*立憲民主党は5人以上の議員の会派という要件があるため議運には入っていません。

請願7件を受理

11月議会に提出された請願は7件、陳情は4件でした。日本共産党は7件すべての請願に紹介議員となりました。

請願・陳情の審査は、11月議会が閉会してから、2月議会が始まるまでの間に閉会中の委員会審査として行われます。

9月議会で受理され閉会中審査が行われて委員会で意思決定がされた請願・陳情のうち、2件の請願の採決が行われましたが、日本共産党の賛成だけで、不採択と審査打切となりました。



11月議会の主な議案と態度（12月8日）

議 案 名	共	その他
天守閣木造復元に関連した2議案（一般会計補正予算・名古屋城天守閣特別会計補正予算）	●	○
ゴミ屋敷条例の制定や体育館条例の一部改正などの条例改正4件	○	○
指定管理者の指定（スポーツセンターや公園施設、コミセンなどの指定管理者を指定。）35案件。	○	○
指定管理者の指定（生涯学習センター8館の指定管理者の指定。社会教育施設に指定管理はなじまない）	●	○
契約の締結（五条川工場の灰出し設備改修）、契約変更（桶狭間勅使線道路新設と山田東住宅の金額増額と完成時期の延長）の3件	○	○
名市大の定款変更や同中期計画制定、損害賠償額の決定、』宝くじ発売など4件	○	○
指定管理者の指定（有松駅自転車駐車場の指定管理者をMHAグループに指定）	○	○
愛知県公安委員会委員の選任（JR東海の社長）	●	○
副市長の選任（減税日本の元県議・幹事長）	投票	
監査委員の選任（識見の委員）・人権擁護委員の推薦（任期満了した人の後任の14人）	○	○
名古屋市の小中学校の給食費を無償にすること等を求める請願のうち、直営自校調理方式を求める項目	○	●
久屋大通公園北エリアの再生に関する請願のうち、樹木の大量伐採をやめる項目	○	▲

○＝賛成・採択 ●＝反対・不採択 ▲＝審査打切

共：日本共産党

その他：自民党、民進党、公明党、減税日本ナゴヤ、立憲民主党

副市長の選任は投票に 賛成44・反対26・無効2

新開副市長の後任として提案された廣澤一郎氏（瑞穂区。1963年生、元愛知県議、減税日本幹事長）に対する賛否は、自主投票の意見があった民進党からの要求で無記名投票となりました。

投票総数72の結果は、賛成44、反対26、無効2で廣澤氏が選任されました。



（写真）投票の様子